

評価細目の第三者評価結果 (保育所、地域型保育事業)

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ－１ 理念・基本方針

	第三者評価結果	コメント
Ⅰ－１－（１） 理念、基本方針が確立・周知されている。		
Ⅰ－１－（１）－① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	法人の理念・法人の保育理念が定められており、「入園のしおり」、ホームページへの掲載がなされている。職員に対しては研修等で周知しており、法人内複数園で行っていた研修を自園独自で開催し、更に保育の方向性を同じくしていく予定がなされている。

Ⅰ－２ 経営状況の把握

	第三者評価結果	コメント
Ⅰ－２－（１） 経営環境の変化等に適切に対応している。		
Ⅰ－２－（１）－① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	市内私立園長会、法人内近隣園との会合により情報の収集に努めている。新型コロナウイルスについては行政からのガイドラインと法人からの具体的施策指示により対応を図っている。
Ⅰ－２－（１）－② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	財務上の課題のほか人員確保についてを近々の課題としている。勤務体制を柔軟にすることで求職者とのニーズをすりあわせ採用につなげるよう努めている。

Ⅰ－３ 事業計画の策定

	第三者評価結果	コメント
Ⅰ－３－（１） 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
Ⅰ－３－（１）－① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	法人の中長期計画が策定されており、各項目に対して具体的施策が示されている。理念・ビジョンを園の年度の事業計画につなげ、更に年間指導計画に落とし込んでいる。
Ⅰ－３－（１）－② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	年度の事業計画には重点取り組み内容が記されており、保育、人材、運営、財務の各方面に対して計画・中間考査・結果として考察する仕組みとなっている。本書面からは、目的を抽出できる客観性と園の細やかさを理解することができる。
Ⅰ－３－（２） 事業計画が適切に策定されている。		
Ⅰ－３－（２）－① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	年度の事業計画については法人と相談しながら進めており、進捗のチェック・評価がなされている。職員は各指導計画作成により意見を反映し、職員会議等の報告により進行を把握している。
Ⅰ－３－（２）－② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a	ソーシャルネットワーキングシステムや園だよりを通じて園の方針を伝えるよう努めており、送迎時の声掛けや連絡帳でのやりとりからその浸透を確認している。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果	コメント
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	観察と質問から保育環境を測るツールを活用し、自身が行う保育の把握がなされている。項目ごとに職員がチェックし、改善への気づきとしている。
I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	前述のチェックはソーシャルネットワーキングシステムやたよりを活用して公開し、環境改善に対して必要な事項を写真付きで説明している。また今年度は初めて福祉サービス第三者評価を受審しており、改善と情報発信への意欲を理解することができる。

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	組織図、職務分担表が作成されており、職員の役割と責任を明示している。全職員を対象とした面談を実施しており、非正規職員を対象とした会議も開催している。情報の伝達を連帯に結びつけるよう組織として取り組みがなされている。
Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a	子どもの安全が何よりも大事であり、そのための法令・ガイドラインの確認がなされている。委員会による検討と実施を中心に研鑽がなされている。
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	園内研修や職員との面談を通して職員個々および園全体の保育の質の向上に努めている。自己評価の対策からも改善への高い意欲を理解することができる。
Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	法務・財務・労務については法人と連携しながら適切な対応にあたっている。来年度から連絡帳のシステムとの連動が予定されており、業務の効率化を進めている。

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	法人と連携し人材確保にあたっている。充実した園内研修、明確なキャリアアップ体制を武器に安定した採用に取り組んでいる。
Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a	目標管理を導入した人事考課制度が設定されており、職員とのコミュニケーションを大事にした人事管理がなされている。また公平性・正確性の担保についても法人の関与により担保されている。
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	職員の就業を管理しており、ストレスチェック等についても相談窓口を設置し対応に努めている。新型コロナウイルスによる職員のストレスに対しても園としてどのように対応していくかを検討・課題としている。

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	個別面談の実施により職員一人ひとりのキャリア形成を考慮した就業・研修参加にあたっている。階層による育成に対しても注力がなされており、管理層へのサポートにあたっている。
II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	今年度、幼児教育支援プログラムに「雨の水って飲めるのかな？」と題した論文を提出し、優秀賞を受賞している。子どもの何気ない一言から始まった論文からは、創造性と行動を大切にす園の日常保育を垣間見ることができる。
II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	新型コロナウイルスの蔓延防止から外部研修への参加に影響がでていたが、リモート機器の活用により参加できるよう配慮している。法人により階層別の研修体系が整備されており、計画性をもって実行している。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	実習生の受け入れマニュアルが設定されており、積極的な受け入れに取り組んでいる。今後は大学生や専門学校生だけでなく、潜在保育士へのインターン等も検討対象としている。

II-3 運営の透明性の確保

	第三者評価結果	コメント
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	法人ホームページにおいて事業概要等を公表している。園の自己評価はソーシャルネットワーキングシステムにて公表するなど風通しの良さへの意識がなされている。
II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	行政からの指導監査・法人の内部監査がなされており、適切な運営がなされるよう取り組んでいる。法人内他園との協調、法人との連携をもって運営を進めている。

II-4 地域との交流、地域貢献

	第三者評価結果	コメント
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	全体的な計画に地域支援を謳っており子どもたちが地域の一員として意識していくよう地域との信頼関係構築に取り組んでいる。在園児の活動として取り組んでいる畑での活動を地域に広げる、近隣農家の協力を得るなど今後のアイデアが温められている。
II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	法人により受け入れマニュアルが設定されるなど受け入れ体制が整備されている。全体的な計画にも未就園家庭の支援等謳っており新型コロナウイルス終息後の活動が期待される。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	発達支援センター、療育機関等と連携しながら子どもたちの支援に努めている。老人福祉施設との交流や図書館の利用についてはコロナ禍により中断しており、再開後は以前同様の利用を予定している。

Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
Ⅱ－４－（３）－① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	b	法人内近隣園の勉強会や研修発表会など有する専門性を生かした活動がなされている。在園児の活動として取り組んでいる畑での活動を地域に広げる、近隣農家の協力を得るなど今後のアイデアが温められている。
Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業・活動が行われている。	b	事業としての受託等はないが、散歩コースの安全を考え、近隣の危険箇所について管轄警察署に要望書を提出するなどの貢献がなされている。

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果	コメント
Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	各種研修、会議を通して職員への周知・徹底・指導に努めている。製作などの活動時、持ち物など性差への先入観に対して固定観念をもたないよう配慮している。
Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a	法人にてマニュアル・規程を定め、プライバシーおよび個人情報の保護にあたっている。高年齢児においては着替え等に配慮し、また外国籍の保護者に対してもコミュニケーションを考慮するよう努めている。
Ⅲ－１－（２） 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
Ⅲ－１－（２）－① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	入園希望者の見学については新型コロナウイルスの影響により人数を限定し、予約制にて実施している。そのほか動画やソーシャルネットワークワーキングシステムを活用し、未曾有の状況に対応している。
Ⅲ－１－（２）－② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a	入園時の説明会は小グループにより行い、個別面談とあわせて配慮に努めている。入園のしおりは、重要事項説明・保健編・持ち物編と分けるなど詳しい説明を記載し、特に子どもの健康状態・管理については入園時だけでなく繰り返し説明し、理解を求めている。
Ⅲ－１－（２）－③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a	卒園児の就学先が多く、全小学校との連絡・連携を課題としている。卒園児の同窓会はコロナ禍にあるため、中断しており、終息後の実施が待たれる。
Ⅲ－１－（３） 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ－１－（３）－① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	行事实施後にはアンケートを依頼し、運営に役立てるよう努めている。また投書箱の設置、日々のコミュニケーションを通して意向把握に努めている。
Ⅲ－１－（４） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ－１－（４）－① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	入園のしおりには苦情解決責任者・受付担当者・第三者委員の連絡先が記載されており、玄関への掲示がなされている。
Ⅲ－１－（４）－② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a	玄関には苦情第三者委員のほか行政の連絡先を掲示し、園内の相談窓口を含めて相談先が選択できる体制となっている。相談室・投書箱を設置するなど相談しやすいよう配慮にあたっている。
Ⅲ－１－（４）－③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	近隣道路の安全性に対しては保護者の意向を汲み、所管警察署への陳情など対応にあたっている。また利用者の知りたい事項や発信すべき事項はソーシャルネットワークワーキングシステム等を活用し、周知に努めている。

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	リスク管理に関する各種マニュアル設置、ヒヤリハット報告書の整備、委員による研修等がなされている。ヒヤリハットの抽出に対しては課題として捉えており書式等検討対象としている。
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	職員の不織布マスクの着用、常時の消毒液持参、食事時の子どもたちの距離保持等々感染症対策を実施している。乳児・幼児それぞれにあわせた対策により新型コロナウイルス感染防止に努めている。
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	毎月の避難訓練、備蓄・備品の整備等万一の事態に備えている。BCPの策定のほか水害時の避難タイミングについては課題として捉えている。

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(1)-① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a	法人策定のマニュアルが完備しており、評価スケールを活用し、職員の業務標準化が図れるよう取り組んでいる。またアプリケーションを活用してコメントや写真を付し、園独自のマニュアルを策定するなど工夫した取り組みがなされている。
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	マニュアルの改訂にあたっては、法人主導のもとプロジェクトチームにより行われている。各園から選抜された職員が関わり、業務改善にあたっている。
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	a	保育所保育指針・全体的な計画を下ろす形で年・月・週の指導計画が策定されている。クラス全体の計画に子どもたちの発達の差を埋めるよう具体的方策を盛り込み取り組んでいる。
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a	定期での振り返りにより指導計画の振り返りと評価に努めている。来年度からは保育システムにおいて月間指導計画と児童票の連動を始める予定としており、業務の効率化と振り返りの充実への効果を期待している。
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	保育管理システムを導入し、法人内で統一した様式により情報共有にあたっている。発達を理解したうえで計画の策定や記録が行えるよう指導に努めている。
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a	書面については鍵付きのキャビネットにて保管し、パソコンのパスワード管理等にてデータの保守にあたっている。個人情報における規定を遵守し漏洩等なきよう対応・整備に努めている。

評価対象Ⅳ 内容評価基準

A-1 保育内容

	第三者評価結果	コメント
A-1-(1) 養護と教育の一体的展開		
A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育過程を編成している。	a	保育所保育指針、法人の保育理念を基に特に五領域における発達・発育を意識した全体的な計画が策定されている。また高齢児については幼児期の終わりまでに育てほしい「10の姿」を見据え、就学等に向かえるよう取り組んでいる。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と養育の一体的展開		
A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地良く過ごすことのできる環境を整備している。	a	子どもたちの安全かつ楽しめる環境提供がなされており、各種配慮がなされている。来年度はテラスに靴をぬぐスペースをつくることが計画されており、子どもたちが園庭で遊びやすいよう環境整備を予定している。
A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	方針の共有、会議での指導等により職員の受容性の向上や主体性をもった保育の推進について注力がなされている。繰り返しの指導により子どもたち一人ひとりへの配慮が行き渡るよう努めている。
A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身に付けることができる環境の整備、援助を行っている。	a	家庭との連携を図りながら、トイレトレーニング、衣服の着脱、食事等基本的な生活習慣の取得に取り組んでいる。更に家庭への働きかけを充実させていく意向をもっている。
A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	コーナー保育の活用等により子どもたちの主体性を重んじた活動がなされている。特に3歳以上児については「サークルタイム」と題し子どもたちが遊び等について話し合う機会を設けており、子どもの意思の尊重と共に子どもたちが見通しを立てて活動する目的で行われている。
A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	安心できる環境の中、人や物に自発的に働きかけること、好きな遊びを十分に楽しむこと等を目標に保育が展開されている。月齢により活動を分けるなど環境設定に注力し、一人ひとりの成長に応じた保育に取り組んでいる。
A-1-(2)-⑥ 3歳児未満児（1・2歳児）の保育において養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	身の自立を意識し、自分で行えることを増やせるよう援助に努めている。他の子どもたちとの関係性の中で楽しさやトラブルへの対処を覚えていけるよう丁寧な対応に取り組んでいる。
A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	「サークルタイム」、「わくわくプレイデイ」など多様な取り組みの中で子どもたちが心身の成長をとげるよう工夫がなされている。自然に触れ、子どもたちの知的好奇心や探究心を高められるよう取り組んでいる。
A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	発達支援センター等と関わりをもちながら意見を参考に保育および環境の向上に努めている。毎月発達会議と題し、事例等の検討を行っており職員間の共有にあたっている。

A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	全体的な計画に項として盛り込んでおり、休息スペースへの配慮、時間特性に対応した防災対策について取り組んでいる。特に夕方の時間帯におけるけが防止に留意しており備品や玩具への配慮に努めている。
A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b	卒園児の就学先が多く、全小学校との連絡・連携を課題としている。幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」を見据え、就学等に向かえるよう取り組んでいる。
A-1-(3) 健康管理		
A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	看護師は0歳児クラスの様子を見ながら園全体の健康に対して管理と指導にあたっている。午睡については年齢ごとの間隔においてチェックし、睡眠の実施対応している。
A-1-(3)-② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	a	毎月の身体測定、健康診断・歯科検診等の実施、嘱託医との連携により子どもたちの健康状態を把握している。また家庭と連携しながら子どもたちの体力向上を目指している。
A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもに対し、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	食物アレルギーをもつ子どもに対しては、看護師・栄養士が同席のもと面談と確認がなされている。医師および生活管理指導票の指示に基づいた調理を実施しており、食事提供時も複数職員によるチェック、食器への配慮等にあたっている。
A-1-(4) 食事		
A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	新型コロナウイルスの影響下にあっても、健康・衛生に配慮しながらも楽しく食事することを心がけた保育がなされている。高等学校の生徒が栽培・収穫したお米をありがたくいただくなど食への感謝の気持ちが育つよう取り組んでいる。
A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	毎月の給食会議や各種会議により子どもたちの趣向等が話し合われている。新型コロナウイルスの影響にあっても工夫しながらクッキング、すいか割り、たくあんづくりなど多様な取り組みがなされている。

A-2 子育て支援

	第三者評価結果	コメント
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	送迎時のコミュニケーション、連絡帳でのやりとりを通して家庭との連携を図っている。ドキュメンテーション・ポートフォリオ・ソーシャルネットワークシステム等コロナ禍において工夫し、子どもたちの活動や様子を伝えられるよう取り組んでいる。
A-2-(2) 保護者等の支援		
A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	外国籍の保護者に対しても伝達等に配慮している。コロナ禍において保育参観等の中止する代替として動画配信するなど工夫に努めている。
A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	看護師を中心に着替え、身体測定時などに子どもたちの様子を確認し、子どもたちの異変について早期発見・対応するよう努めている。行政・関係機関と連携し、子どもの安全と権利を守るよう努めている。

A-3 保育の質の向上

	第三者評価結果	コメント
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
<p>A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。</p>	a	<p>職員自身については目標管理の中で自己評価が行われており、面談を基に振り返りがなされている。またクラスとして各指導計画は時期ごとに評価がなされており、次期につなげる仕組みが構築されている。</p>